

## 大規模林道の検討に多くの道民の声を聴くことを求める要望書

2008年10月10日

北海道知事 高橋はるみ様

大規模林道問題北海道ネットワーク

代表 寺島一男

大雪と石狩の自然を守る会	会長	寺島一男
ナキウサギふあんくらぶ	代表	市川利美
十勝自然保護協会	会長	安藤御史
(社)北海道自然保護協会	会長	佐藤謙
北海道自然保護連合	代表	寺島一男
ザ・フォレストレンジャーズ	代表	市川守弘

現在、北海道が全道7ヶ所で開催中の「山のみち」(旧大規模林道・旧緑資源幹線林道)整備事業の実施に関する『意見交換会』は、多くの地元住民の意見を聞くという点は評価できます。

しかし、大規模林道は、3路線の総事業費が1000億円、今後610億円以上の税金の投入が必要な事業であり、道民に大きな負担をもたらします。また、林道としても役立たない無駄な公共事業でありながら、北海道に残された貴重な自然に、計り知れないほどの影響を与え続ける道路なのです。

こうした問題点を道民としてどう判断するかが重要であり、該当する地域の住民の意見だけを聞いて判断すべきではありません。

そこで私たちは、知事に対して、札幌市、旭川市、帯広市など都市部での開催も求めると同時に、道のHPなどでも大規模林道に関する情報を広く開示して、道民の声を聴くようにすることを求めます。

そして、事業の実施の判断にあたっては、地元の生活道路の実現とは区別し、北海道の未来を切り開くには、何を大切にすべきか、私たちは子孫に何を残すべきかをという基準で判断していただくことが大切です。

なお、今、地方自治体は、道も市町村も苦しい財政状態です。道路に投じる巨額な税金は、むしろ地方の医療体制の充実など直接、住民に必要な費用に充てるべきでしょう。

私たちは知事の英断、決断を期待します。

以上

\* 回答は、下記宛に10月末日までをお願いします。

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目ダンケ大通ビル7F

市川法律事務所着付

大規模林道問題北海道ネットワーク事務局長 市川 利美

TEL 011-281-3348 FAX 011-281-3383